

再犯防止推進計画について

豊田市社会福祉審議会 地域福祉専門分科会 資料

再犯防止推進委員会の取組報告

- R8テーマ「居住支援」について
 - 今年度の動き（推進委員会・ワーキンググループ）

R8テーマ「居住支援」について

「居住支援」に関する協議結果は、中間アウトカム評価に向けた評価の一環として蓄積・整理するとともに、先進事例も参考にしながら、本市の居住支援体制の充実・強化に反映していく。

評価の視点

○支援体制の整備状況 ○刑事司法・福祉関係機関等との連携 ○地域資源の活用状況 ○本人の意思決定支援・地域生活への定着支援

委員会で挙げた主な意見（抜粋）

- 入口支援は時間的制約が大きいいため、支援開始から住居確保までに必要な期間の目安や支援の流れを、関係機関で共有できるとよい。
- 本人は、入口支援・出口支援の別にかかわらず、自分で納得できる住まいを選びたいと考えており、本人の意思決定を尊重する視点が重要である。
- 生活再建の視点を重視し、一時的な住まいの確保から地域生活への移行までを一体的に考える必要がある。
- 豊田市の個別支援は丁寧に行われている一方で、社会全体として刑余者への理解不足や入居拒否の課題は依然として残っている。
- 先進事例も参考にしながら、豊田市における居住支援体制の充実について継続して検討する必要がある。

今年度の動き

6月18日

第1回 推進委員会

主な議題

- 第1次計画（令和7年度）の実績・総評
- 第2次計画の評価について
- R8テーマ「居住支援」の現状と課題

8月

ワーキンググループ

参加機関

外部関係機関：日本福祉大学・愛知県弁護士会・愛知県地域生活定着支援センター・豊田市社会福祉協議会

市の関係課：地域包括ケア企画課・よりそい支援課・建築相談課

検討内容

居住支援 — 住まいの確保から地域生活への移行

10月23日

第2回 推進委員会

主な議題

- ワーキンググループの検討結果を踏まえ、居住支援の充実等を協議
- 評価活動（中間アウトカム評価）の一環として反映